

## 協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。  
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。  
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	ヨーク大学	氏名	
国名	英国	学籍番号	
留学期間	2023年 9月 ~ 2024年 6月	記入年月日	2024年 7月 15日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: Language and Linguistics			
科目名	Structure of English	科目名	Language & the Mind
授業内容	英語の文構造を他の言語との比較もしながら学んでいく。津田の英語学概論と似ている。セミナーでは講義で得た知識を使い、少人数クラスで新たな課題に取り組む。	授業内容	認知科学の概念について学び、脳が言語をどのように処理しているのかなどについて学んだ。セミナーでは、事前にやってきた課題を持ち寄り少人数グループで議論するなどした。
授業形式	lecture, seminar	授業形式	lecture, seminar
単位数	20 (credit)	単位数	20 (credit)
サイズ	lecture: 100人程度? seminar: 20人弱	サイズ	lecture: 100人程度? seminar: 20人弱
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量	予習が多い。Seminarは毎回事前課題あり	宿題の量	予習が多い。Seminarは毎回事前課題あり
コメント	英語に関する授業なので、RP(容認発音)や各地の方言がどのようなイメージを持たれているか、またどのような特徴があるかなど、英語母語話者でないとわかりにくいようなトピックもあり、そこはどうしても理解が難しかった。	コメント	脳科学というか、ニューロサイエンス的な側面が強く、全体的に難しく感じた。今年からできた新しいモジュール(授業)らしい。
科目名	Psychological Perspectives on Education	科目名	English Past & Present
授業内容	学校教育において心理学をどのように活用できるかを考えたり、心理学における様々な研究事例などを学んだりする。セミナーでは少人数クラスで議論やグループワークをした。	授業内容	古英語や中英語など、科目名の通り過去の英語と現在の英語について学ぶ授業。現在の英語については、英語の中の方言の違いについても触れた。加えて、社会言語学的内容も取り扱われた。
授業形式	lecture, seminar	授業形式	lecture, seminar
単位数	20 (credit)	単位数	20 (credit)
サイズ	lecture: 100人弱? seminar: 10数人	サイズ	lecture: 100人程度? seminar: 20人弱
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量	それほど多くない	宿題の量	予習が多い。Seminarは毎回事前課題あり
コメント	教育学部から取った授業。過去に実際に学校で行われた心理実験について学んだり、これまで学んだことを生かして自分たちが学校現場で何かをしたらどのように実践するかをグループで考えたりと、面白い内容が多かった。	コメント	言語を調査する際の実験の仕方やデータの扱い方などを学んだことで、普段津田でも読んでいるような学術論文がどのような実験を経てどのように書き上げられているのかを想像できるようになり面白かった。また、Language attitudes(言語態度)など、言語に関する興味深い概念についても知れた。ただしセミナーで扱われるトピックが難しく苦労した!

科目名	Spanish Language and Cultures: Beginner	科目名	Cultural and Creative Approaches to Education
授業内容	スペイン語の授業。一度も習ったことのない初心者だったのでbeginnerコースになった。	授業内容	子どもの幼少期と思春期(青年期)において、どのような文化的・創造的教育アプローチがあるかについて学んだ。おもちゃや絵本についても扱ったのでとても興味深く楽しかった。
授業形式	lecture, seminar	授業形式	lecture, seminar
単位数	20 (credit)	単位数	20 (credit)
サイズ	lecture, seminarともに10人以下	サイズ	lecture: 100人弱? seminar: 10数人
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量	毎回何らかの課題あり	宿題の量	それほど多くない
コメント	外国語の授業も多くあったので以前から関心のあったスペイン語に挑戦した。英語とスペイン語は似ている部分も多いので、日本語でスペイン語を勉強するよりも頭に入りやすいと思う。ただ、英語と似ているだけあって、英語が第一言語である現地の学生は覚えが早く、自分だけ遅れているように感じるなど気持ち的に焦りはあった。	コメント	教育学部から取った授業。おもちゃや絵本、詩など様々な例を見ながら、それぞれがどんな意味を持つのか、何を示唆しているのかなどについて考えるなどした。英語圏の例について知れるので新鮮で楽しかった。
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>グループディスカッションなどの際、現地の学生は話すテンポも速いので、話題がコロコロ変わるとついていくのに必死になってしまい自分の考えを細かく説明することができなかった。ただ、話のテンポ感をつかむのには慣れも必要だと思うし、やはりネイティブでない以上ニュアンスも含めた会話のすべてを完璧に理解するのは難しいので、割り切るところは割り切って流れについていく切り替え力も大切だと思うようになった。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>キャンパス内にいくつかパブがあり、毎週夜にサークルの仲間と集まって飲んだり話したりしていた。授業で出会う以上にたくさんの人と出会え、とても親しくなれた。今でも仲良くしている友達のほとんどと、サークルの集まり/パブで知り合った。また後期は日本語を教えるボランティアにも参加し、日本語のコースをとっている学生が日本語を学習する手助けをした。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所 Campus West(メインのキャンパス)にあるVanbrugh collegeのDonald Barron Courtというブロックにある寮</p> <p>設備についての簡単な説明 一人部屋でシングルベッド、大きめの机、椅子、収納があり、バスルームには洗面所とトイレ、シャワーブースがあった。キッチンと同じ階の12人で共有だが、広いので特に不満はなかった。</p> <p>部屋について 1 人部屋      広さ      畳くらい</p> <p>ルームメートについて なし</p> <p>寝具や生活用品の入手方法 渡航前に大学のwebページから掛け布団・敷き布団・枕・それらのカバーの一式を購入していたのでキャンパス内の売店で受け取ることができた。到着した日に街まで買い物に行く余力のありそうな人は街で買ったほうが安いと思う。</p> <p>生活の感想 部屋や生活環境に大きな不満はなかったが、日本の建物と比べて壁が非常に薄いので隣の部屋の人が騒ぐととてもうるさかった。特に私の隣人はパーティー好きで元気な感じだったので、深夜や明け方に騒がれて起きてしまうこともあった。直接伝えたら多少は配慮してくれるようになったが、壁の薄さとフラットメイトの雰囲気(私のフラットはかなり元気な人が多かった)には悩まされた。どんなメンバーと同じフラットになるかは運次第ではあるが、私のフラットメイトはほとんどが現地の学生で、留学生は私とあともう一人の2人だけだった。その分留学生同士2人で助け合えたので、そこはよかった。</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>朝食はメニューが変わらないので、毎朝選ぶものを変えるなどして飽きないようにしていた。夕食はメニューのバリエーションが豊富だった。ただかなり量が多いので、一部を持って帰って次の日のお昼にするなどしていた。お昼と土日は自炊か外食をしていた。</p>

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	AIG損害保険	
	留学先大学にあった医療保険制度	
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
なし		
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	188,310 円
	帰国旅費	178,440 円
	引越し(往復で)	なし 円
	保険	194,680 円
	語学研修費	なし 円
	留学先学費	£19,755      3,613,565 円
	本学学費	200,000 円
	教材費	なし 円
	住居費	£8,978.52      1,682,200 円
	食費	200,000(?) 円
	その他( 旅費 )	300,000(?) 円
	( )	円
	( 奨学金 )	+ 1,850,000 円
合計	4,707,195 円	
換算率 ( £1 = 180~200 円)		
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください		
業務スーパージャパンドリーム財団奨学金(給付)		
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
	洗濯ネット(イギリスの洗濯機は荒いので必要だと思う)、常備薬、化粧水や乳液など使い慣れている基礎化粧品、箸(アジアンスーパーマーケットで割り箸は売っているが、自炊したものを食べるときに)	
留学前にしておけばよかったこと		
リスニング力を上げること。耳を慣れさせるために自分も色々やっていたが、やはり英語母語話者に速いスピードで話されると内容をパーフェクトに聞き取ることは難しかったので、少しでもたくさん耳から英語を入れておくと思う。		

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>セミナーなどの少人数の授業で、講師からクラス全体に意見を求められたとき、なにか言おうと思っても「自分としてはわかったつもりでいるけど、ちゃんと授業内容を理解できていなかったらどうしよう」「初歩的な質問をして、なにもわかっていないと思われたらどうしよう」などと思ってしまい、なかなか発言できなかった。日本でも私は小学校の頃からクラスの前で手を挙げて発言するようなことは苦手だったが、やはり海外で第二言語で授業を受けていると、自分がちゃんと理解できているのかも不安だし、現地の学生の勢いに押されて、積極的に意見を言うのは気持ち的に難しかった。生活面では、公共交通機関があてにならないことがストレスだった。電車は時間通りに来ないことばかりであるうえ、大幅に遅延するし、キャンセルされてしまうことも多々あった。スコットランドに行ったときに帰りの電車がキャンセルされて帰れなくなり、翌朝電車が来るまで一晩余計にエディンバラで過ごしたこともあった。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>一番の成果は、たくさん経験をして、精神的にとっても強くなったし大人になったこと。また様々な国出身の人と交流し世界中に友達ができたこと。そして彼らにそれぞれの言語を教えてもらったおかげで、簡単にではあるが多くの言語に詳しくなれたし、どこの言葉がどんなふうなものなのかという感覚をつかむこともできた。言語学をやっていたので、授業など学習面でも言語に関する知識を得たが、生活面でも様々な言語に触れて実際にコミュニケーションの中でいろいろな言語を使うことができたのが楽しかった。また精神面では、慣れ親しんだ環境とはまったく違う場所に身を置いたことで、日本ではしないような経験をたくさんして、視野も大きく広がったし考え方も成長した。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>大学院や海外インターンなど様々な道を考えてはいたが、卒業後は一旦就労経験を積む意味でも日本で働くことを決め、帰国した7月に就職活動を始めた。留学中は、先に述べたようにもともと卒業後すぐの就職を考えていなかったのと、留学に集中したい気持ちがあったので就職活動はしていなかった。ただ、春に新卒採用を終了する企業ももちろんあるので、それに関しては自分の気になる企業の採用の時期や情報だけでもチェックしておけばよかったかもしれない。8月末に就職先が決まり、英語を使用する頻度も高い職種を選んだので、留学で身につけた英語力や知見を生かせるように努力したい。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>かけがえのない経験になると思うので、少しでも行きたい気持ちがあるのなら挑戦してほしいです。寮やら授業やらサークル活動やらでいろいろな人と関わるので、絶対どこかで友達ができます。様々な国出身だったり様々なバックグラウンドを持っていたりする人たちと一緒に、ただただしゃべったり、ごはんを食べたり、どこかに出かけたりした時間は本当に楽しくて仕方なかったです。もちろん不安もあるかもしれないし、私自身大変なこともあったけれど、今思い出を振り返って出てくるのは楽しい瞬間ばかりで、だからこそイギリスでの時間が終わってしまったことがさみしいけれど、このさみしさも乗り越えてもっと強くなりたいと今は思えます。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>留学中、円安が急速に進んだのが大変だった。渡航した頃は1ポンド180円程度だったのがじわじわと上がり続け、帰る頃には205円にまで上がってしまったので、10月に学費や寮費を一括で払ってしまったのがよかったと後になって思った。</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

( 許可する(写真含む)       写真掲載のみ不可       許可しない )

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。  
ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。



ピクニック



大学内のバーで



キャンパスの様子